

2021/10/8

(うとQ世話し 裏腹)

古来、帝国や国家の崩壊原因として「格差の拡大」というのが結構あった様です。
構造的に見ますと中間所得層が減って国家運営の税収が減り民の要求を吸収できなくなる
事が一つと、緩衝材としての中間層が減る事で差が顕著な富裕層と貧困層がダイレクトに
衝突し易くなる事等が上げられます。

この見方はお金を介しての見方ですが是以外にも

「コミュニケーションの断絶」

と言うのがあるかもしれません。

何に起因するかは別として考え方、感じ方、暮らし方の違いに依って相手が何を考え、何を
感じ、どう思っているのか補足できなくなる。

平たく申せば「意思の疎通が図れなくなる」と云う事です。

「金の切れ目が縁の切れ目」の諺の如くお金(利害)が先かコミュニケーションの断絶(心
理交流)が先かを決めるのはなかなか難しい事ですが上位概念的に見ると矢張り「コミュニ
ケーションの断絶、意思疎通の齟齬」の方が包含関係から見て上だと思われれます。

そこで我が国で特に顕著な「コミュニケーションの断絶、意思疎通の齟齬」という現象の要
因を考えてみたのですが、どうもお金に起因したものだけではない様な気がするのです。

というのも数値的に見て欧米、アジア、アラブ、中南米、アフリカ諸国より貧富の差が相対
的にはかなり少ないからです。

勿論以前の我が国に比べれば現在の我が国の貧富格差は相当なレベルに拡大しております。
しかし上記の諸国諸地域程迄には至っていない。

なのに、観察する限り他の諸外国より遙かに国民同士の、しかも階層的な断絶と云うより
も各個人同士の、換言すれば細胞レベルに迄細分化された断絶が拡がっている気がします
し

「コミュニケーションの断絶と意思疎通の齟齬」

が蔓延し常態化しているのを感じます。

ところがそれとは裏腹に表向き「何の争いもなく、いとも和やかに歓談している様に見える」
というこの不思議と違和感。

この状態に対する感想を以前自分は

「行儀が良くて礼儀のないのは最悪だ」

と表現しました。

「心がないのに外見だけ整っている方が却って始末が悪く手に負えない」

と言う意味です。

では何故そういった事態が全国規模で且つ津々浦々に至る迄引き起こされているのか？

独断的で申し訳ありませんが、

自分の観察によれば

「極めて強い同調圧力下で
皆が頷ける様式美のみ。
それに対する
人目チェックを
一つの取り零しもなく
全てクリアしないと
仲間外れにされる」
と言う強迫（ほぼ脅迫）観念によって
引き起こされている。
「最低レベルですらここ迄重いと
怖くて何もできない」
となれば
「未達の実態を晒す危険を冒さぬ用」
仮面を被る
当り障りのない話に終始して踏み込ませない
距離を置く
逃げ腰になる
早々に立ち去る
密かに心の扉を閉じ
息を潜める
等が見た目の和やかさとは裏腹に密かに進行している
「コミュニケーションの断絶と意思疎通の齟齬」
の原因？
残念乍らほぼその様な結論に至ってしまいました。